

理学療法

理学療法とは

理学療法とは病気・ケガ・高齢・障害などによって運動機能が低下した状態にある人々に対し、運動機能の維持・改善を目的に運動・温熱・電気・水・光線などの物理的手段(運動療法・物理療法等)を用いて行われる治療法です。

「理学療法士及び作業療法士法」の第2条では「身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行なわせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えることをいう」と定義されています。

	理学療法
対象	身体に障がいのある方(障がいが予想される方)
目的	基本的動作(歩く・座る・立ち上がるなど)能力の改善
方法	評価、基本運動、心身の健康維持や改善のための運動、 物理療法、日常生活活動(ADL)の指導

運動療法とは

運動療法とは、身体運動により障害や疾患の治療や予防を行う治療法です。近年、生活習慣病と呼ばれる糖尿病・高血圧・脂質異常症・虚血性心疾患等の発生の重要な要因として運動不足が明らかになってきており、運動療法の重要性が高まっています。

治療目的	治療対象
1. 関節可動域の維持・増大	関節・皮膚・靭帯 等
2. 筋力の維持・増大	活動筋 等
3. 持久力の維持・増大	筋持久力・姿勢保持筋 等
4. 協調性の改善	神経系 等
5. 全身の生理学的機能維持・増強	肺・心臓 等

★治療風景を一部紹介します★



骨盤周囲へのアプローチ
(腰仙関節・仙腸関節治療など)



呼吸リハビリテーション
(呼吸介助・排痰療法など)



関節・靭帯等へのアプローチ
(関節モビライゼーションなど)



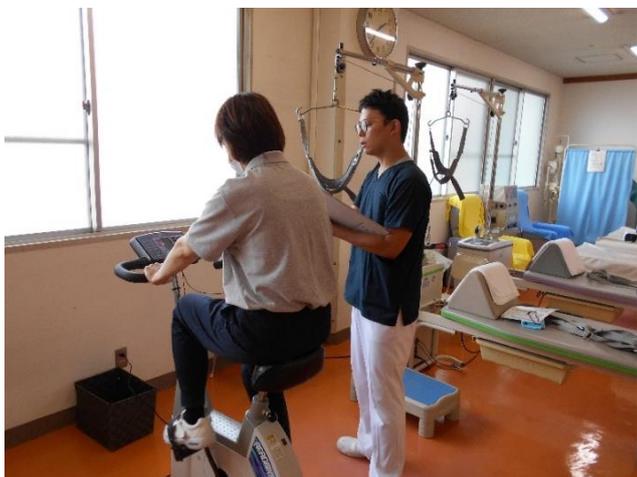
関節内運動を考慮した関節可動域運動



杖・装具等の福祉用具を用いた歩行練習



松葉杖歩行練習(指導)



自転車エルゴメーターを用いた筋力強化、心肺機能の向上



スポーツリハビリテーション(テーピング等)

物理療法とは

物理的エネルギー(熱・水・光・電気・徒手)を用いて、疼痛緩和・循環改善・リラクゼーションを目的に行う治療法です。温熱療法・水治療法・光線療法・電気療法・マッサージに分類されています。

★治療機器を一部紹介します★

ホットパック



表層部の伸張性増大、疼痛軽減、血流改善

マイクロ波



深層部の伸張性増大、疼痛軽減、血流改善

超音波治療器



炎症の治癒促進、癒着の改善、疼痛軽減、血流改善

渦流浴(バイブラバス)



疼痛軽減・血流改善、
筋の伸張性増大

低周波治療器



手術後の筋機能促進、
神経麻痺等の神経・筋促通

干渉電流型低周波治療器



電気刺激による筋肉の収縮・弛緩、
疼痛軽減、血流改善

頸椎・腰椎牽引



関節離開による神経根の除圧、
軟部組織の伸張・マッサージ効果

メドマー



浮腫の改善、筋の疲労回復

ハバード浴



褥瘡予防、血流改善、
浮力を用いて運動を補助